建設住宅性能評価　変更の流れ　＜一戸建ての住宅＞

申請者（施工管理責任者）

設計住宅性能評価申請図書からの変更が発生

変更の内容の確認

元の図面通り工事の修正

図書を変更

評価項目以外の変更
申請内容（4･7号の2･3面）に変更が出た場合

･代表者の交代
･工事施工者の住所
･事務所番号の更新等

変更設計が必要な項目
基準に適合しているか不明な場合

･平面ﾌﾟﾗﾝ(耐力壁)変更
･壁量計算･構造計算の変更
･Q値･μ値計算の変更
･等級を上げる変更等

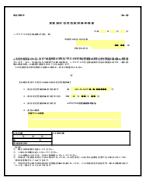
軽微な変更項目の例
部分的な変更で、基準の照合が容易にできる

･開口率･開口比
･地盤改良を施工
･等級を下げる等（計算書の変更を伴わない）

設計評価書にも反映

建設評価書のみに反映

＜変更設計住宅性能評価＞
ハウスプラスに申請
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞのﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｺｰﾅｰで詳細を確認ください
注）有料となります

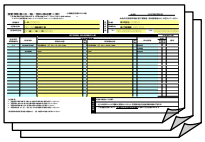


設計評価書にも反映

建設評価書のみに反映

＜申請内容等変更届＞
ハウスプラスに提出
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞからﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ可能

＜変更申告書＞
ハウスプラスに提出
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞのﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｺｰﾅｰで詳細を確認ください



評価員

検査時に提出

現場検査の実施

変更内容の判定

変更設計必要

判定欄「変更設計評価申請」にﾁｪｯｸ

工事の修正
又は
変更設計申請の必要性を指摘

工事の修正
又は
変更設計住宅性能評価申請

軽微

判定欄「軽微」にﾁｪｯｸ

2部受領し、1部を申請者に返却

変更申告書の内容通りに施工